

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

項目 1: 化学品及び会社情報

- ・ 製品識別子
- ・ 商品名: **INOLUB™ T300 series**
- ・ **成績名:** **INOLUB™ T303, INOLUB™ T304, INOLUB™ T305, INOLUB™ 308, INOLUB™ T350, INOLUB™ T315, INOLUB™ T315F, INOLUB™ T320F, INOLUB™ T330F**
- ・ **CAS 番号:**
9002-84-0
- ・ **EC 番号:**
618-337-2
- ・ 該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途
追加的な関連情報は得られていません。
- ・ **成分の利用/調合**
ポリマー、コーティング、塗料、ゴム、ワックス、インク、接着剤、グリース、潤滑剤の添加剤として使用されます。
- ・ 安全データシートの供給元の詳細情報
- ・ **製造者/納入者:**
Gujarat Fluorochemicals Limited
12/A, GIDC Dahej Industrial Estate,
Taluka: Vagra, Bharuch 392 130, Gujarat, India
- ・ この他の情報問い合わせ先:
E: inolub@gfl.co.in
W: www.gfl.co.in/www.gfl-europe.com/www.inolub.com
- ・ **緊急連絡電話番号**
緊急電話番号: +91-2641-618003
その他緊急電話番号: +49 40 8080 74 529 (ヨーロッパ)
その他のコメント(例:電話サービス言語:英語)

項目 2: 危険有害性の要約

- ・ **化学品のGHS分類**
本化学物質はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類されていません。
- ・ **GHSラベル要素 (絵表示又はシンボル,注意喚起語,危険有害性情報及び注意書き)**
- ・ **GHS ラベル要素** 無効
- ・ **絵表示** 無効
- ・ **注意喚起語** 無効
- ・ **危険有害性情報** 無効

(2ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series




(1ページの続き)

- ・ GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性
- ・ PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び v Pvb (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント
- ・ PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・ vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

項目 3: 組成及び成分情報

- ・ 化学物質・混合物の区別: 化学物質
- ・ CAS 番号表示
9002-84-0 Polytetrafluoroethylene
- ・ ID 番号 MITI番号: 6-939
- ・ EC 番号: 618-337-2
- ・ 補足注意事項:
分子式: (C2F4)x
ピュリティ: >99.9 %
シノニム: Ethene, 1,1,2,2-tetrafluoro-, homopolymer
Poly(tetrafluoroethylene)
PTFE
ポリ (テトラフルオロエチレン)
1,1,2,2-テトラフルオロエチレン重合体

- ・ その他の商品 意図しない副産物

335-67-1	<p>ペルフルオロオクタン酸 (<10 ppb)</p> <p> 発がん性 区分2, H351; 生殖毒性 区分1B, H360; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372</p> <p> 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1, H318</p> <p> 急性毒性(経口) 区分4, H302; 急性毒性(吸入) 区分4, H332</p>
----------	--

項目 4: 応急措置

- ・ 応急手当処置に関する説明
- ・ 一般情報:
症状が持続する場合、または疑いがある場合は、医師の診察を受ける。
医師に相談してください。出席の医者はこの安全データ用紙を示して下さい。
- ・ 吸い込んだ場合:
症状が持続する場合は、医師に連絡してください。
新鮮な空気を供給して下さい;不平の場合には医者に相談して下さい。
- ・ 皮膚が触れた場合:
皮か毛の接触が起これば:
流水 (および石鹼もしあれば) が付いている同じ高さの皮そして毛。
刺激のイベントで医師の診察を受けます。

火傷の場合:直ちに冷たい水を浸すか、飽和した清潔な布で包むことによって燃やす。焼けた部分の上の衣類を取除かないし、切らないで下さい。皮膚に付着した衣服を引き離

(3ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

(2ページの続き)

さないでください。分割してはならないブリスタ
 一削除固化材です。
 素早くカバーを巻のドレッシングは、清潔な布の防止のための感染症や痛みました。大きな
 火傷には、シーツ、タオル、枕の伝票が理想的です。軟膏、油、バターなどを塗布しないで
 ください。いかなる状況下でも火傷する人が意識している場合、水は少量で与えられる
 ことがありません。アルコールはいかなる状況下でも与えられない。人を暖かく保つことによ
 って患者の到着にその間ある位置で扱いなさい。医療援助を求め、怪我の原因と程度、およ
 び流水が利用できな場合圧縮を使用してください。適用されない氷としてこの場合低体温
 に起こします。水泡を壊したり、バターや軟膏を塗ったりしないでください。生殖不能の、
 非棒の包帯とカバーによって焼跡を緩く保護し、ガーゼかテープとしっかり止めて下さい。

衝撃を防ぐため: (人に頭部、首、または足の傷害があるか、または不快を引き起こさなければ):
 人を平らに置く。
 フィートを約12インチ上げて下さい。可能であれば、心臓レ
 ベル以上の火傷エリアを昇格させます。コートや毛布で人をカ
 バーしてあります。
 医療援助を求める。三度の火傷のために。
 即時の医学か緊急の援助を追求しなさい。

その間に: 傷にリントを残さない広い区域のために生殖不能の、非棒の包帯または、シート
 または他の材料と焼跡区域カバーを緩く保護して下さい。乾燥した滅菌包帯で焼かれたつま
 先と指を別々にする。
 火傷を水に浸したり、軟膏やバターを塗ったりしないでください。衝撃を防ぐためには上で
 見なさい。気道の火傷のために、人が横たわっているときに人の頭の下に枕を置かないでく
 ださい。これは気道を閉じることができる。顔の火傷を持つ人が座っています。チェック
 パルスおよび呼吸監視のためのショックまでの緊急援ホームページから確認できます。

・眼に入った場合:

すぐに水で洗い流してください。
 刺激が続く場合は、医師の診察を受けてください。
 目の傷害後のコンタクトレンズの除去は、熟練した人員のみが行うべきである。

熱傷のため: コンタクトレもし可能であれば担架の犠牲者を、置き、両方の目にパッドを入
 れて下さい。ドレッシングが目の上下にドレッシングの下に厚いパッドを、置くことに。緊
 急の医療援助、または病院への輸送を求める。

・飲み込んだ場合:

すぐに一杯の水を与える。
 飲み込んで嘔吐を誘発しない場合は、無意識の人に口で何かを与えることはありません。
 医師を呼び出します。

(4ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

(3ページの続き)

- ・ **医師への指示事項:** 症候的かつ支持的に治療します。
- ・ **急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状**
目とのほこりの接触は、機械的な刺激につながる可能性があります。
- ・ **何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候**
ポリテトラフルオロエチレン (PTFE) および他の関連のpolyfluorinatedポリマーのため:
この物質の熱分解生成物は、24-48時間持続するインフルエンザ様症候群inn manを産生することが知られている。

項目 5: 火災時の措置

- ・ **消火剤**
- ・ **適切な消火剤:**
フォーム。乾燥した化学粉。
BCF (規制が許可されている場合)。
二酸化炭素だ
水スプレーか霧-大きい火だけ。
- ・ **安全上の理由から不適切な消火剤:**
熔融材料の燃焼に水や泡の固体の流れを指示しないでください ; これは飛び散る原因となり、火を広げることがあります。
- ・ **本化学物質または混合物から発生する特別な危険性**
燃焼生成物への暴露は健康への危険であるかもしれません。
有害燃焼製品:
フッ化水素
カルボニル
潜在的に毒性のあるフッ素化合物
エアロゾル化微粒子
炭素酸化物
- ・ **消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**
- ・ **特別な保護装備:**
呼吸装置と保護手袋を着用してください。
完全防護服を着用してください。
- ・ **その他の情報**
燃えるが、難しさの炎を広げる可燃性固体 ; ほとんどの有機性塵は可燃性であると推定される(およそ70%)-燃焼プロセスが起こる状況に従って、そのような材料は火および/または塵爆発を引き起こすかもしれない。
有機粉末は、粒子の大きさや形状に関係なく、濃度の範囲にわたって細かく分割され、空気または他の酸化媒体中に懸濁されると、爆発性の塵-空気混mixturesを形成し、火災または粉塵爆発(二次爆発を含む)を引き起こす可能性がある。
塵が爆発を形作るかもしれないので塵、限られたかunventilatedスペースの塵の特に雲を発生させることを避けて下さい。
空気との混合物、および発火源、すなわち炎または火花は、火災または爆発を引き起こす。
固体の微細粉碎によって発生するダスト雲は特に危険であり、微細なダスト(420ミクロン以下)の蓄積は、点火されると急速かつ激しく燃焼する可能性があり、この限界を超える粒子は一般に引火性ダスト雲を形成することはないが、一度開始すると、直径1400ミクロンまでの大きな粒子が爆発の伝播に寄与する。
ガスおよび蒸気と同じように、雲の形で塵を払います集中のaaの範囲にだけ発火できます;

(5ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

(4ページの続き)
 原則として、下部爆発限界 (LEL) と上部爆発限界 (UEL) の概念は、ダスト雲に適用可能であるが、**lel**のみが実用的である (これは、高温で均質なダスト雲を達成することが本質的に困難であるためである) (ダストについては、LELはしばしば"最小爆発濃度"、MECと呼ばれる)。可燃性液体/蒸気/霧と処理されたとき、発火しやすい (雑種の) 混合物は可燃性と塵を払い可燃性粉塵 (ダスト) よりも低く点火可能な混合物は爆発圧力の上昇率を高め、最小着火エネルギー (MIE) は空気混合物中の純粋な粉塵の個々の LEL よりも低くなります。蒸気/粉塵混合物の爆発下限界 (LEL) は、蒸気/ミストまたは粉塵の爆発したくさんの気体プロダクトの解放かもしれません: これはそれから植物および建物を取り扱った機器などの集塵装置、ドライヤー、ミルが必要な追加の保護対策などの爆発ベン

項目 6: 漏出時の措置

- ・ **人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置** 皮、目および衣類が付いている接触を避けて下さい。塵およびエアロゾルの形成そして吸入を避けて下さい。十分な換気を確保する。
- ・ **環境に対する注意事項**
 環境への排出は避けなければならない。
 材料が排水溝に入らないようにしてください。
- ・ **封じ込め及び浄化の方法及び機材**
 マイナーなこぼれ
 すぐにすべての流出をクリーンアップ。
 皮膚や目との接触を避ける。
 不浸透性の手袋と安全メガネを着用してください。
 乾燥したきれいなプロシージャを使用し、塵を発生させる真空アップ (保管および使用中に接地されるように設計された防爆機械を考慮する)。
 清掃にはエアホースを使用しないでください。
 こぼれた材料を清潔で乾燥した密封できるラベル付きの容器に入れます。
 主要な流出 人員の領域をクリアし、風上に移動します。消防隊に警告し、危険の場所と性質を伝えます。保護具とほこりを使用して物質との個人的な接触を制御します。レスピレーター、こぼれたものが排水溝、下水道、または水路に入るのを防ぎます。ほこりの発生を避けてください。
 スイープ、シャベルアップ。可能な限り製品を回収してください。ラベルの付いたビニール袋またはその他の容器に残留物を入れて廃棄します。排水溝や水路の汚染が発生した場合は、緊急サービスに連絡してください。

(6ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

(5ページの続き)

- ・他のセクションへの言及 安全な取り扱い
- 方に関して7項を参照 人の保護装備の情
- 報に関して8項を参照 廃棄処分に関して
- は13項参照

項目 7: Ιάδαίιδεά è ñúðàíáíεά

- ・**取扱い** ほこりの発生を避けてください。取扱い後は必ず石鹼と水で手を洗ってください。職場での良好な換気/排気を確保してください。レセプタクルをしっかりと密閉してください。溶融材料によって引き起こされる傷害の最大の可能性は、機械（成形機、押出機など）のページ中に発生します。熱い溶かされた材料から、操作を変えることの間に出る発煙か蒸気は頭上式の金属表面か排気管で凝縮するかもしれません。凝縮物には、刺激性または毒性のある物質が含まれていてもよい。その材料と皮膚との接触を避ける。汚染された区域をきれいにするときゴムか他の不浸透性の手袋を身に着けて下さ。分解温度を超えるプロセス温度は避けてください。過熱は、過度に高いシリンダー熱、間違ったスクリー構成による溶融物の過労、または機械での長い滞留時間によって発生する可能性があります。このような条件下では、熱放出および熱分解生成物は、適切な換気がないと、変換領域で危険な濃度に達する可能性があります。ホットパージは、急速な冷却を可能にするために、細い平らなストランドとしてのみ収集する必要があります。ホットパージは、換気の良い場所で水で急冷して冷却する必要があります。不必要な個人的な接触をすべて制限します。
- ・**火災および爆発防止に関する注意事項:** ほこりの雲の発生を避けるために、乾いた掃除を最小限に抑えてください。ほこりがたまる表面を掃除機で吸い取り、化学薬品の処分場に移動します。防爆モーター付きの掃除機を使用する必要があります。静電気の発生源を制御します。ほこりやそのパッケージには静電気が蓄積する可能性があります、静電気放電が発火源となる可能性があります。固形物処理システムは、該当する規格（654および77を含むNFPAなど）およびその他の国内ガイダンスに従って設計する必要があります。オペレーター、梱包容器、およびすべての機器は、電氣的ボンディングおよび接地システムで接地する必要があります。ビニール袋やプラスチックは接地できず、帯電防止袋は静電気の発生を完全に防ぐことはできません。
- ・**混融危険性を含めた安全貯蔵条件**
- ・**保管:**
- ・**保管スペースおよび容器に関する要求事項:** 元の容器に保管してください。容器はしっかりと密封してください。極端な環境から保護された、涼しく乾燥した場所に保管してください。容器を物理的な損傷から保護し、漏れがないか定期的にチェックしてください。主要な数量の場合:

(7ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

バンディングエリアでの保管を検討してください。保管エリアがコミュニティの水源（雨水、地下水、湖、小川など）から隔離されていることを確認してください。空気または水への偶発的な放出が緊急時災害管理計画の対象であることを確認してください。これには、地方自治体との協議が必要になる場合があります。^(6ページの続き)

適切な容器 裏地付き金属缶、裏地付き金属バケツ/缶。プラスチック製のバケツ、ポリライナードラム。メーカー推奨の梱包。

すべての容器に明確なラベルが貼られており、漏れがないことを確認してください。

・同じ場所に保管する際の注意事項:

水、食品、飼料または種子の汚染を避けてください。

飽和パーフルオロカーボンの場合:

標準的な酸化還元電位はPFCには適用されません。材料は電気化学反応の影響を受けず、水性媒体中で解離しません。

それらは本質的にすでに完全に酸化されており、過マンガン酸塩、クロム酸塩などの標準的な酸化剤の影響を受けません。唯一の既知の酸化は、熱分解によって高温でのみ起こります。

同様に、材料は極端な条件下でのみ還元され、ナトリウム元素などの還元剤が必要です。マグネシウム、アルミニウムとその合金、真ちゅう、鋼は避けてください。

このクラスで最も反応性が高い可能性のある過フッ素化第三級アミンと非常に類似した過フッ素化エーテルは、同様に非反応性です。フッ素化tert-アミンは強酸と塩または錯体を形成せず、ほとんどの酸化または還元によって攻撃されません エージェント。

ポリテトラフルオロエチレン (PTFE) およびその他の関連するポリフッ素化ポリマーの場合:

強力な酸化剤、テトラフルオロエチレン、ヘキサフルオロエチレン、パーフルオロイソブチレン、フッ化カルボニル、フッ化水素との保管は避けてください。

・保管条件に関するその他の注意事項:

容器を堅く密封しておきなさい。

極度な熱からの店。

・特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

項目 8: ばく露防止及び保護措置

・許容濃度等

・作業場において限界値の監視を要する成分: 削除

・生物学的許容値を持つ原料:

・加工処理で想定される危険における追加暴露限界値:

7664-39-3 フッ化水素

OEL 最大許容濃度: 2.5 mg/m³, 3 ppm

630-08-0 一酸化炭素

OEL 長期値: 57 mg/m³, 50 ppm

(8ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

(7ページの続き)

124-38-9 二酸化炭素OEL | 長期値: 9000 mg/m³, 5000 ppm

- ・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもたれている
- ・設備対策
- ・ **ἰῥαοῖᾱῦ ἑἰᾱἰᾱῶᾱἰ ἑἰῖῶῖῆ** その他の申し立てなし、7項参照
- ・人的保護装備:
- ・一般防止措置および衛生措置:
 仕事場でよい換気/枯渇を保障して下さい。
 洗濯設備が職場で利用可能であることを確認してください。
 食糧、飲料および供給から保ってください。
 目、皮および衣類が付いている接触を避けなさい。
- ・呼吸保護器具:
 換気が不十分な場合は、適切な呼吸保護装置を使用してください。
 溶解材料の場合:

工学的および管理的管理が暴露を適切に防止しない場合、呼吸器が必要になることがあります。

呼吸保護具を使用するかどうかの決定は、毒性情報、暴露測定データ、および労働者の暴露の頻度と可能性を考慮した専門家の判断に基づいて行う必要があります - ユーザーが熱ストレスや苦痛を引き起こす可能性のある高い熱負荷にさらされないようにしてください (個人用保護具 (動力付き、ポジティブフロー、フルフェイス装置がオプションの場合があります))。

公表されている職業暴露限界は、それらが存在する場合、選択された呼吸保護の適切性を判断するのに役立ちます。これらは、政府が義務付けている場合やベンダーが推奨している場合があります。

認定された呼吸器は、完全な呼吸保護プログラムの一環として適切に選択され、適合テストされた場合、粒子の吸入から労働者を保護するのに役立ちます。

大量のほこりが浮遊する場合は、承認されたポジティブフローマスクを使用してください。

- ・手の保護:



保護手袋 適切な手袋の選択は、素材だけでなく、メーカーごとに異なる品質のマークにも依存しま

す。化学物質が複数の物質の調製物である場合、手袋の材料の耐性を事前に計算することはできないため、適用前に確認する必要があります。

関連する規格 (例:ヨーロッパEN 374、US F739、AS / NZS 2161.1、または国内同等品) でテストされた手袋を選択します。

- ・手袋材

手袋は清潔な手にのみ着用する必要があります。手袋を使用した後は、手をよく洗って乾かしてください。無香料の保湿剤の使用をお勧めします。

高温の材料を取り扱うときは、耐熱性の肘までの長さの手袋を着用してください。

高温の物体、材料を取り扱う場合、ゴム手袋は推奨されません。革手袋または革に面した手袋

(9ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

(8ページの続き)

・手袋材の浸透時間

正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること

・眼の保護:



密閉式保護めがね

化学ゴーグル。

コンタクトレンズは特別な危険をもたらす可能性があります。ソフトコンタクトレンズは刺激物を吸収して集中させる可能性があります。レンズの着用や使用制限を説明したポリシー文書を、職場やタスクごとに作成する必要があります。これには、使用中の化学物質のクラスのレンズの吸収と吸着のレビュー、および傷害の経験の説明を含める必要があります。医療および応急処置の担当者は、その取り外しについて訓練を受け、適切な機器がすぐに利用できるようにする必要があります。化学物質にさらされた場合は、すぐに眼の洗浄を開始し、実行可能な限り早くコンタクトレンズを取り外してください。レンズは、目の充血または刺激の最初の兆候が見られたときに取り外す必要があります。レンズは、作業者が手を完全に洗った後でのみ、清潔な環境で取り外す必要があります。[CDC NIOSH Current Intelligence Bulletin 59]、[AS / NZS1336または国内同等物]

・体の保護:

適切な保護服を着用してください。

高温または溶融した液体を取り扱うときは、ブーツの外にズボンまたはオーバーオールを着用して、ブーツにこぼれたものが入らないようにしてください。通常、作業者の熱保護を必要とし、蒸気暴露の危険性を高める溶融液体として扱われます。

項目 9: 物理的及び化学的性質

・基本的な物理及び化学特性に関する情報

・一般指示事項

・物理状態

個体

・Öâÿò

白

・におい:

無臭

・嗅覚閾値

決まっていない。

・融点/融解範囲:

320 - 346 °C

・沸点/沸点範囲:

決まっていない

・発火性 (個体、気体):

成分は発火性ではない

・Äîëíà è äîðíà ãðàíëöà à àêñîëíçèâîñò

・下限:

決まっていない。

・上限:

決まっていない。

・引火点:

情報なし

・自然発火性:

決まっていない。

・分解温度:

>400 °C

・pH

情報なし

(10ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

<ul style="list-style-type: none"> ・ 粘性: ・ Εείαίαòè-áí àèñêîçèòào ・ 力学的: ・ Ðàçòáíðèîñò ・ 水: ・ 分配係数 (n-オクタノール/水): ・ 蒸気圧: ・ 密度及び / 又は相対密度 ・ 密度: ・ 相対的密度 ・ 蒸気密度 	<p>(9ページの続き)</p> <p>情報なし</p> <p>情報なし</p> <p>不溶性</p> <p>決まっていない.</p> <p>情報なし</p> <p>2.2 g/cm³</p> <p>決まっていない.</p> <p>2.14 - 2.20 (Air=1)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ その他のデータ ・ 外観 ・ 形: ・ 健康および環境保護ならびに安全に関する重要な指示事項 ・ 爆発の危険: ・ 状態の変化 ・ 気化速度 	<p>使用は材料が溶融する必要があります。 溶融または加熱された材料は、混合、成形または押出成形され得る。</p> <p>個体</p> <p>プロダクトは爆発する危険はない</p> <p>情報なし</p>

項目 10: 安定性及び反応性

- ・ 反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 化学的安定性 推薦された貯蔵条件の下の馬小屋。
- ・ 熱分解/回避すべき条件: 高温での熱分解の開始を避ける[>260°C) 。
- ・ 危険有害反応可能性
強い酸化剤と反応できます。
危険な分解生成物は高温で形成される。
- ・ 避けるべき条件 極端な熱。
- ・ 混触危険物質 酸化剤。
- ・ 危険有害な分解生成物
フッ化水素酸
二フッ化カルボニル
二酸化炭素
一酸化炭素

項目 11: 有害性情報

- ・ 毒性学的影響に関する情報
- ・ 急性毒性:
無効

(11ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

(10ページの続き)

・分類上の LD/LC50 値:

吸入

400度以上の温度で。Cポリマーは分解を開始し、温度が上昇するにつれて反応が速くなります。

PTFEを含む燃焼物質からの煙は上気道を刺激し、長時間暴露すると有害になる可能性があります。過熱または燃焼したPTFEは、フッ化水素（非常に刺激性および腐食性のガス）と少量のフッ化カルボニル（非常に毒性）を放出します。

過度に長い時間の処理または過度の高温での処理は、目、鼻、喉を刺激し、目の赤いかゆみ、咳、喉の痛みを引き起こす非常に刺激性の蒸気の生成と放出を引き起こす可能性があります。製品の揮発性のため、通常は危険ではありません。

摂取

高分子量材料；単回の急性暴露では、ほとんど変化/吸収なしに胃腸管を通過すると予想されます。時折、消化管内に固形物が蓄積すると、胃石（結石）が形成され、不快感を引き起こすことがあります。

・皮膚において:

皮膚を刺激しない

溶けた材料は火傷を引き起こす可能性があります。

開いた切り傷、擦り傷、または炎症を起こした皮膚は、この物質にさらされるべきではありません。たとえば、切り傷、擦り傷、または病変を介した血流への侵入は、有害な影響を伴う全身損傷を引き起こす可能性があります。材料を使用する前に皮膚を調べ、外部の損傷が適切に保護されていることを確認してください。

・眼において:

刺激作用はありません。

物質は刺激性があるとは考えられていませんが、目と直接接触すると、裂傷または結膜の発赤を特徴とする一時的な不快感を引き起こす可能性があります（風焼けの場合のように）。

わずかな研磨損傷も発生する可能性があります。

・感作作用: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

・生殖細胞変異原性 利用できるデータ無し。

・発がん性 利用できるデータ無し。

・生殖毒性 利用できるデータ無し。

・特定標的臓器毒性（単回ばく露） 利用できるデータ無し。

・特定標的臓器毒性（反復ばく露） 利用できるデータ無し。

・呼吸器に危険 利用できるデータ無し。

・誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。

・その他の情報 (実験的毒性について):

慢性

製品への長期暴露は、健康に悪影響を与えるとは考えられていません。それにもかかわらず、当然のことながら、すべてのルートによる曝露は最小限に抑える必要があります。

ポリ（テトラフルオロエチレン）は、多くの泌尿器疾患の治療に使用されています。

局所注射によるいくつかの実験動物の曝露は、採取された部位の組織学において持続的な慢性炎症反応を示した。25%PFA（PTFEの誘導体）を繰り返し投与すると、肝臓と精巣に変化が生じましたが、その後の研究ではこれらの影響は再現されませんでした。

この材料には、懸念が少ないと考えられるポリマーがかなりの量含まれています。

これらは、分子量が1000から10000の間で、分子量が1000未満で分子の25%未満、500未満で10%未満であると分類されます。または分子量平均が10000を超える。

(12ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

この物質が癌や突然変異を引き起こす可能性があるという懸念がいくつかありましたが、評価を行うのに十分なデータがありません。
(11ページの続き)

項目 12: 環境影響情報

- ・ 毒性
- ・ 水生生物に対する毒性:
ポリマーの水溶性がほぼゼロであることに基づいて、生態毒性は低いと予想されます。
- ・ 残留性・分解性
材料は不活性であると見なされ、生分解性または毒性があるとは予想されていません。
- ・ 生態蓄積性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 土壌中の移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント
- ・ PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・ vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
- ・ オゾン層への有害性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 他の副作用
- ・ その他のエコロジーに関する注意事項:
- ・ 一般注意事項: 一般に水の危険要因ではない

項目 13: 廃棄上の注意

- ・ 化学品 (残余廃棄物), 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報
- ・ 勧告: ローカルおよび国の規則に従って有害廃棄物として捨ててください。
- ・ 洗浄されていないパッケージ:
- ・ 勧告:
空のコンテナは、リサイクルまたは廃棄のために承認された廃棄物処理サイトに持ち込む必要があります。
特に指定のない場合: 未使用品として廃棄してください。

項目 14: 輸送上の注意

- | | |
|-------------------|-----------|
| ・ UN 番号 | |
| ・ ADR, IMDG, IATA | 規制されていません |
| ・ 品名 (国連輸送名) | |
| ・ ADR, IMDG, IATA | 規制されていません |

(13ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

(12ページの続き)

・ 国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	
・ ADR, ADN, IMDG, IATA ・ 分類	規制されていません
・ パッケージの分類 ・ ADR, IMDG, IATA	規制されていません
・ 環境危険:	規制されていません
・ ユーザー用特別予防措置	規制されていません
・ MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによる ばら積み輸送される液体物質	規制されていません
・ UN "模範規制":	規制されていません

項目 15: 適用法令

- ・ 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報
- ・ 化審法
- ・ 既存化学物質 6-939
- ・ 特定化学物質 物質は含まれていない
- ・ 監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質 物質は含まれていない
- ・ 優先評価化学物質 物質は含まれていない
- ・ 白物質 物質は含まれていない
- ・ 既存化学物質安全性点検結果 (分解性・蓄積性) 物質は含まれていない
- ・ 既存化学物質安全性点検結果 (毒性) 物質は含まれている
- ・ PRTR 制度 - 第一種指定化学物質 物質は含まれていない
- ・ PRTR 制度 - 第二種指定化学物質 物質は含まれていない
- ・ 毒物及び劇物取締法:劇物 物質は含まれていない
- ・ 毒物及び劇物取締法:有機シアン化合物から除かれるもの 物質は含まれていない
- ・ 毒物及び劇物取締法:毒物 物質は含まれていない
- ・ 毒物及び劇物取締法:特定毒物 物質は含まれていない
- ・ 労働安全衛生法
- ・ 危険物
- ・ 爆発性の物 (施行令別表第 1 第 1 号) 物質は含まれていない
- ・ 発火性の物 (施行令別表第 1 第 2 号) 物質は含まれていない
- ・ 酸化性の物 (施行令別表第 1 第 3 号) 物質は含まれていない
- ・ 引火性の物 (施行令別表第 1 第 4 号) 物質は含まれていない
- ・ 可燃性のガス (施行令別表第 1 第 5 号) 物質は含まれていない
- ・ 特定化学物質等
- ・ 第一類物質 物質は含まれていない
- ・ 第二類物質 物質は含まれていない
- ・ 第三類物質 物質は含まれていない

(14ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

(13ページの続き)

- ・ 名称等を通知すべき有害物 (別表第9) 物質は含まれていない
- ・ 製造許可物質 物質は含まれていない
- ・ 鉛中毒予防規則 (施行令別表第4) 物質は含まれていない
- ・ 四アルキル鉛中毒予防規則 (施行令別表第5) 物質は含まれていない
- ・ 有機溶剤中毒予防規則第 (施行令別表第6の2)
- ・ 第一種有機溶剤等 物質は含まれていない
- ・ 第二種有機溶剤等 物質は含まれていない
- ・ 第三種有機溶剤等 物質は含まれていない
- ・ 強い変異原性が認められた化学物質 物質は含まれていない
- ・ 消防法 物質は含まれていない
- ・ 海洋汚染防止法 物質は含まれていない
- ・ 特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
- ・ 特定物質代替物質 物質は含まれていない
- ・ 特定物質 物質は含まれていない
- ・ 大気汚染防止法 物質は含まれていない
- ・ 水質汚濁防止法
- ・ 有害物質 物質は含まれていない
- ・ 指定物質 物質は含まれていない
- ・ GHS ラベル要素 無効
- ・ 絵表示 無効
- ・ 注意喚起語 無効
- ・ 危険有害性情報 無効
- ・ 国内規定:
- ・ その他規定、制限、禁止規定
 - 国際在庫
 - Canada DSL: リスト
 - Philippines PICCS: リスト
 - Japan ENCS: リスト
 - Australia AICS: リスト
 - China IECSC: リスト
 - KECL: KE-33429
 - TSCA: リスト
 - Canada NDSL: 記載されていない
 - Europe (EINECS/ELINCS/NLP): リスト
- ・ 化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

項目 16: その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、プロダクトの特性を保証するものではなく、また契約において法的根拠にはならない

- ・ データシート作成部門: Product safety department.
- ・ 問い合わせ先:
E: inolub@gfl.co.in
W: www.gfl.co.in/www.gfl-europe.com/www.inolub.com

(15ページに続く)

JP

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.06.18

バージョン番号: 1

改訂日: 2021.06.18

商品名: INOLUB™ T300 series

(14ページの続き)

電話番号: +91-2641-618003, +49 40 8080 74 529 (ヨーロッパ)

・ 縮約と二文字語:

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

LC50: Lethal concentration, 50 percent

LD50: Lethal dose, 50 percent

PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic

vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative

PRTR/化管法: 化学物質排出把握管理促進法

・ 資料

Chemidplus database

GESTIS Database

・ * 前の版からデータを変更

- 項目1: 物質/混合物および会社/事業の特定
- 項目2: ハザードの特定
- 項目3: 成分の組成/情報
- 項目4: 応急処置。
- 項目5: 消火対策
- 項目6: 偶発的な放出対策
- 項目7: 取り扱いと保管。
- 項目8: 暴露防止および個人保護。
- 項目9: 物理的および化学的特性。
- 項目10: 安定性と反応性
- 項目11: 毒物学的情報。
- 項目12: 生態学的情報。
- 項目13: 廃棄に関する考慮事項
- 項目14: 輸送情報
- 項目15: 規制情報
- 項目16: その他の情報

JP